

2021年11月12日

米国眼科学会年次総会（AAO 2021）において
オミデネパグ イソプロピルなどに関する最新データを発表

参天製薬株式会社（本社所在地：大阪市）は、2021年11月12日から15日に開催される米国眼科学会年次総会（AAO 2021、<https://www.aao.org/annual-meeting>）において、EP2 受容体作動薬、オミデネパグ イソプロピルなどに関する発表が行われますことをお知らせします。

オミデネパグ イソプロピルは、緑内障・高眼圧症治療剤「エイベリス点眼液 0.002%」として2018年以降、日本、アジアで販売されています。米国でも新薬承認を申請しています（PDUFA¹に基づく審査終了目標日：2021年11月19日、開発コード：STN1011700）。本学会では、米国での販売承認申請におけるピボタル試験の成績などが発表されます。

主要演題

演題 No.	演題
PA041	Omidenepag Isopropyl 0.002% vs. Latanoprost 0.005% in Open-angle Glaucoma/Ocular Hypertension: The Phase 3 PEONY Trial
PO215	Omidenepag Isopropyl vs. Timolol Maleate for Open-angle Glaucoma/Ocular Hypertension: The Phase 3 Spectrum 4 Trial
PO241	Efficacy and Safety of DE-127 vs. Placebo in Mild or Moderate Myopia: The APPLE Study
PO007	Safety and Effectiveness of MicroShunt ² Implantation versus Trabeculectomy: 2-year Results from a Randomized, Multicenter Study

抄録は、こちらのリンクからご覧ください。<https://registration.experientevent.com/showaao211/flow/Attendee#!/registrant//ShowItems/>

1 Prescription Drug User Fee Act: 1992年に米国で制定された新薬承認促進のための法律

2 米州およびオーストラリア、ニュージーランドでの開発販売は、米国 Glaukos Corporation（本社：米国カリフォルニア州サンクレメンテ）が担います（2021年5月19日プレスリリース：<https://www.santen.co.jp/ja/news/20210519-1.pdf>）。

以上

本件に関するお問い合わせ先

参天製薬株式会社 IR 室

E-mail: ir@santen.com